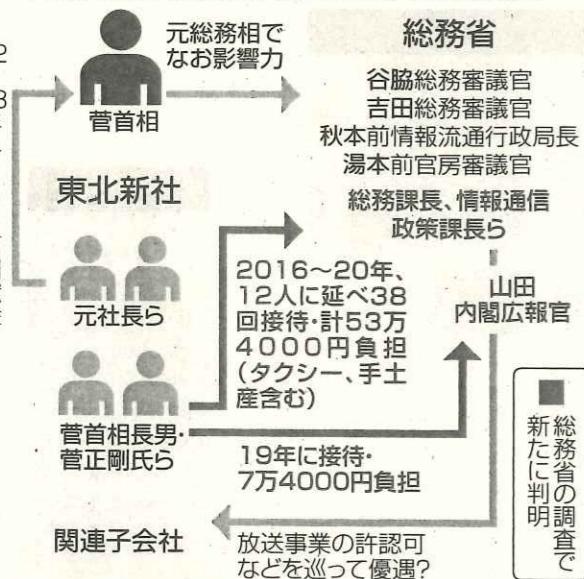


官業癒着「父」の影

首相長男と総務省幹部の接待を巡る問題



12~18年 計500万円献金

菅義偉首相の長男正剛氏が勤める放送事業会社「東北新社」による接待問題。

会食に参加した総務省幹部は、これまでの判明分を含めて計十三人以上ることが常態化していたんだなと驚いた。半分以上、首相の息子が同席し、深く関わっていたことは見過ごせない

二十二日の衆院予算委員会の理事会。総務省から調査結果の報告を受けた立憲民主党の辻元清美氏は、記者団に語気を強めた。共産党の小池晃書記局長は記者会見で「ズブズブの関係にあったことを示すものだ」と指摘した。

総務省がまとめた「会食一覧」には趣旨として「意見交換」「懇親会」など無難な表現が並ぶ。別に出されただけのことと示すものだ」と指摘した。

野党は額面通りに受け取つていい。山田氏の二回の会食について「記憶はない」として、衛星放送の話題が出たと認めた。「呼ぶ方も下心がなかったらわからない。そこが全然解明されていないのは、ふに落ちない」(辻元氏)

核心人事権持つ首相恐れ? 会食

飯館村の避難住民百五十人が暮らした伊達東仮設住宅(伊達市)で、少々困っていたのは生活物資の購入だった。一人暮らしで車のない高齢者が多かった。

そんな悩みを解決してくれたのが、原発事故前から飯館村も回り「オレンジ屋さん」の愛称で呼ばれていた移動販売車だった。トラックの荷台部分には魚や肉類、総菜、野菜、飲み物、お菓子などがぎっしり陳列されている。

「ほかにも販賣に来たいという業者はいたんだけど、全

部受け入れとはいからね。この業者なら、多くの村民が知り合い。自治会にはかって「了承してもらった」と仮設の自治会長を務めた農家、佐藤忠義さん(七〇)。

事故前、この販賣車は農繁り陳列されていて、全



飯館村の避難住民百五十人が暮らした伊達東仮設住宅(伊達市)で、少々困っていたのは生活物資の購入だった。一人暮らしで車のない高齢者が多かった。

7年の日々 ふくしまの10年

仮設では、プランターの土がほしいという要望があれば次回巡回時に配達。販賣車が来るところに手が届く味方だった。

以前から飯館村を回っていた移動販賣車に、集まる避難住民=2014年5月、伊達市で(豊田直巳さん提供)



東京新聞Web、「原発のない国へ」ホームページをご覧になります。

東京電力は二十二日、福島第一原発3号機の原子炉建屋内に設置した地震計二台がいずれも故障していたにもかかわらず、修理せずに半年以上放置していたため、福島・宮城両県で震度6強を記録した十三日の地震のデータを記録できていなかつたと明らかにした。原子力規制委員会の検討会の場で、東電側が地震の影響を報告した際に説明した。東電は地震後の記者会見や公表資料で、地震計の故障に一切触れず、それ以降も、公表していなかった。

福島3号機は、2010年3月に運転再開され、2011年3月に水素爆発を起こした。むしろ、この会見で語りをする場だった気がします」と話しました。

ご意見はfukushima10@tokyo-np.co.jpへ



首相会見で司会

菅首相の記者会見を仕切る山田真貴子内閣広報官邸で

菅義偉首相の長男・正剛氏が勤める放送事業会社「東北新社」による総務省幹部の接待問題で、正剛氏らの接待を受けた山田真貴子内閣広報官(六〇)は、首

予算委員会で、幹部らの意識として「特に首相の長男だから」と述べたが、立民の大串博志氏は「首相の前では『関係なかった』と言わざるを得ない。忖度が生まれているのではないか」と指摘。

正剛氏側からの説明は「断れない、付き合わざるを得ないと特別扱いになつてない」と追及した。だが、首相は当初から、自ら真相を究明しようとい

う姿勢に乏しい。正剛氏と総務省幹部の会食の多さに人に問い合わせるよう野党から求められると、総務省の調査であることを理由に「絶対に避けるべきだ」と拒否した。

12~18年 計500万円献金

首相会見で司会

菅義偉首相の長男・正剛氏が勤める放送事業会社「東北新社」による総務省幹

部の接待問題で、正剛氏らの接待を受けた山田真貴子内閣広報官(六〇)は、首

予算委員会で、幹部らの意識として「特に首相の長男だから」と述べたが、立民の大串博志氏は「首相の前では『関

係なかった』と言わざるを得ない。忖度が生まれているのではないか」と指摘。

正剛氏側からの説明は「断

れない、付き合わざるを得

ないと特別扱いになつてい

ない」と追及した。だが、首相は当初から、自ら真相を究明しようとい

う姿勢に乏しい。正剛氏と

総務省幹部の会食の多さに

人に問い合わせるよう野党

から求められると、総務省の調査であることを理由に「絶対に避けるべきだ」と拒否した。

福島沖の魚 基準超え

福島県漁業協同組合連合会は22日、同県沖の試験操業で水揚げしたクロソイから、食品衛生法が定める基準値(1kg当たり100mg)を超える500mgの放射性セシウムを検出し、出荷を停止したと発表した。試験操業で取れた魚の基準値超えは

2年ぶり出荷停止

被災3県

2019年1月のコモンカスベ以来約2年ぶり。

東京電力福島第一原発事故後、国は福島沖の44魚種を出荷制限。順次解除が進み、昨年2月にはゼロとなったが、クロソイが改めて出荷制限される見通しどころ。県漁連によると、基準値超えのクロソイは22日、同県新地町沖8.8キロ、水深24メートルで取れた。

海洋放出風評首長88%懸念

東日本大震災

京電力福島第一

被害が大きかつ

城、福島三原の

村長を対象とす

のアンケートで

で増え続ける放

リチウムを含ん

大洋放出案につ

どろ、88%に

七首長が風評被

感じているこ

と、分かった。

政府は有識者

会議の提言を基

出を軸に検討。

期に決める

一階の地震計

東電、故障地

福島3号機

13

東電は「二十二日、福

島第一原発3号機の原子炉

建屋内に設置した地震計二

台がいずれも故障してい

た。

福島第一廃炉堆

庫の小野明・皇

族会で「貴重

な意見はfukushima10@tokyo-np.co.jpへ